

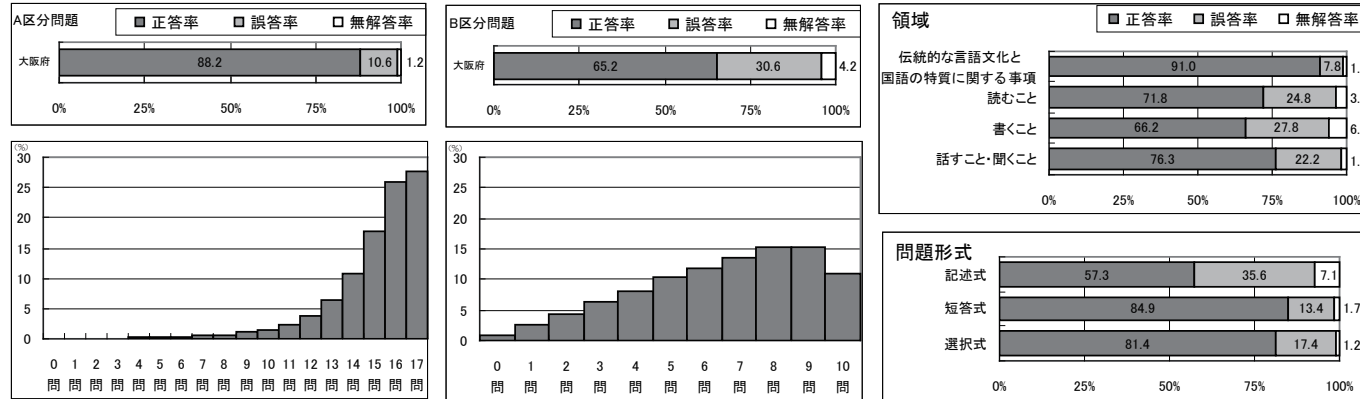
○主として「知識」に関するA問題の正答率より、主として「活用」に関するB問題の正答率が下回っており、これまでの学力調査と同様、知識・技能を活用する力に依然として課題が見られます。

○A問題の結果から、多くの子どもたちは、漢字の読み書きや計算などの基礎的・基本的な知識・技能は身につけているものの、その言葉や式などが持つ意味について、理解を深めることが必要とわかりました。

○B問題の結果から、無解答率がこれまでの学力調査に比べると低くなっており、深く考える問題などに対して前向きに取り組む意識はぐくまれつつあると考えられます。
文や図、グラフなどさまざまな形態で表現された問題を読み、そこからわかることや読み手の考えを書いたり、身近なことからについてその理由を説明したりする力をつけることが必要です。

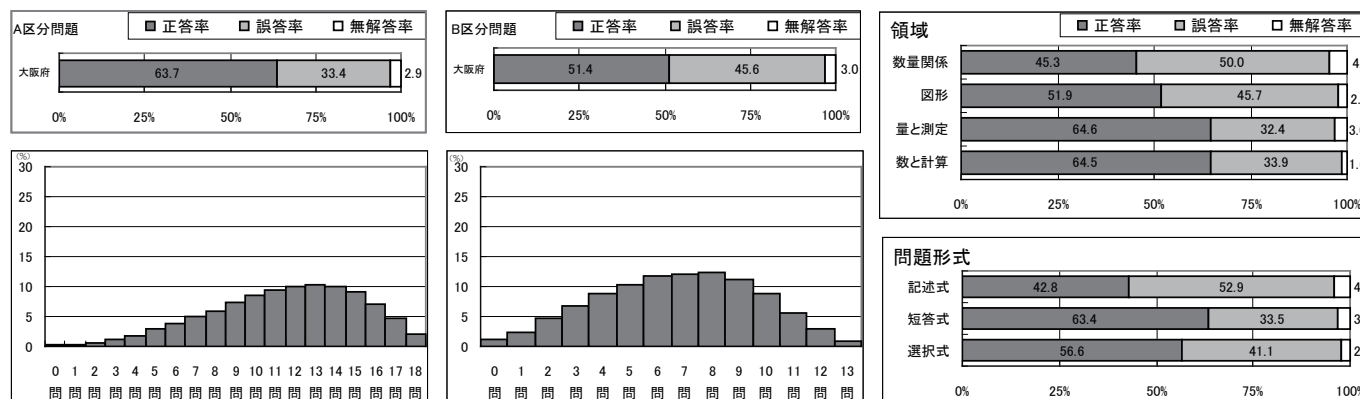
小学校国語

- ◆学力の分布は正答数の多い側に集中し、良好です。A・B問題ともに無解答率がこれまでの学力調査等に比べて最も低く、問題にしっかり取り組んでいます。
- ◆文脈に合う漢字の読み書きや、適切な接続詞の選択、場面に応じた表現へ書き直す問題については、正答率が高く、概ね良好な結果です。
- ◆ポスターや会話文を読んで、案内状に書き換えたり、物語の登場人物の行動について説明することに課題が見られます。



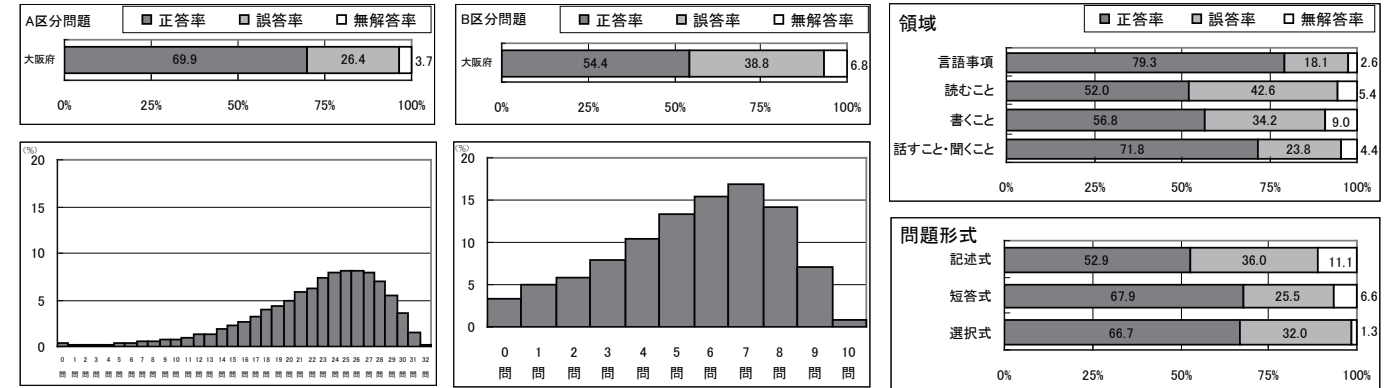
小学校算数

- ◆学力の分布は正答数がやや多い側に集中した山型です。B問題の無解答率はこれまでの学力調査等の中で最も低く、国語と同様、問題にしっかり取り組んでいます。
- ◆計算問題は正答率が高く、概ね良好な結果です。
- ◆計算の意味、円周率や概数、割合の意味の理解や、数学的な考え方をを用いて日常的なことからを説明したり、表やグラフに表わすことに課題が見られます。



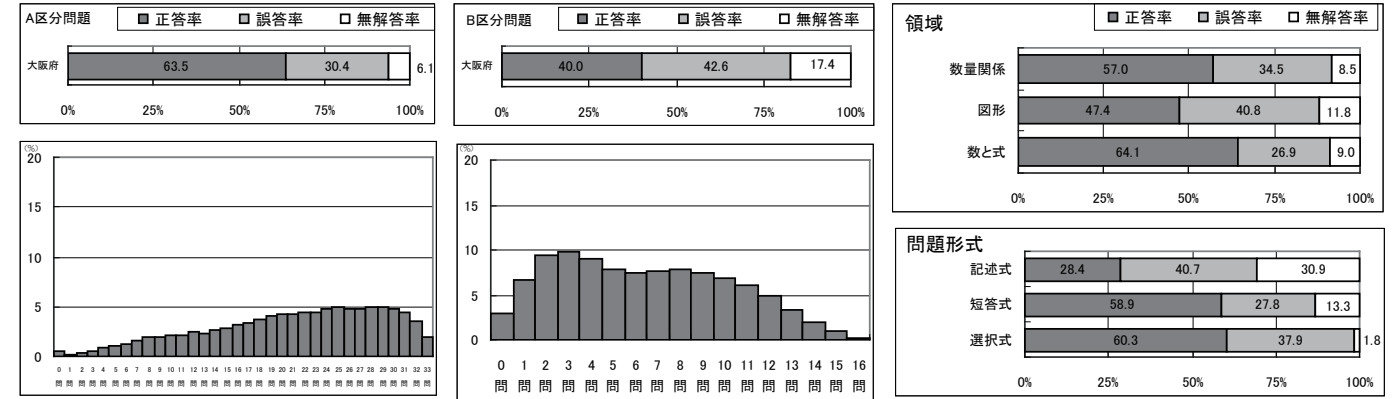
中学校国語

- ◆学力の分布は正答数の多い側に集中しており、概ね良好です。B問題の無解答率はこれまでの学力調査の中で最も低く、問題にしっかり取り組んでいます。
- ◆文脈に合う漢字の読み書きは全般的に正答率が高く、概ね良好な結果です。
- ◆説明文や小説、ホームページ、グラフや図表と組み合わせられた文章など、さまざまな種類の文章を、目的に応じ、自分の考えを持って読みとることや、条件に従って自分の考えを書くことに課題が見られます。



中学校数学

- ◆学力の分布は、A問題については正答数の多い側にかたよりはあるものの、全体として拡散しています。B問題については正答数の少ない側に集中しています。
- ◆計算問題は他の問題と比べて正答率が高く、概ね良好な結果です。
- ◆基礎的・基本的な内容において、錯角など用語の意味や方程式が表す意味を理解することや、身近なことから見られる数学的な法則や現象についてその意味や理由を説明することに課題が見られます。



中学校英語

- ◆学力の分布は、正答数の多い側にかたよりはあるものの、全体として拡散しており、正答数の少ない側へ広がっています。
- ◆聞き取り問題については、他の問題に比べて正答率が高く、概ね良好な結果です。
- ◆日本語の意味に合うように、適切な疑問詞を用いて疑問文を完成させたり、与えられたテーマに対する自分の考えや理由を書くこと、また英語で書かれた身近な複数の情報（メール文と時刻表）を読みとることに課題が見られます。

